

山崎正和氏に聞く——

大阪の文化振興、 今とこれから



山崎正和 (やまざき まさかず) 氏

1934年京都府出身。京都大学文学部哲学科卒業。関西大学教授、コロンビア大学客員教授などを経て、大阪大学教授、同大学名誉教授。平成3年兵庫県立芸術文化センター芸術監督就任、平成15年同センター芸術顧問就任。平成13年より中央教育審議会委員として、教育・文化・行政全般の政策策定に参加し、平成19年より会長。東亜大学学長、財団法人サントリー文化財団理事を歴任。現在、LCA大学院大学(大阪市北区)学長。

平成5年大阪文化賞、平成11年紫綬褒章、平成18年文化功労者。



堀井良殷 理事長

今、あらためて1982年に大阪21世紀協会が設立された時の「文化立都宣言」を読みますと、「美しく品格ある人間のすみかをつくり、歴史の贈り物にしよう」と呼びかけています。しかし今、文化は折からの逆風にさらされて難渋しています。大阪人としての志や矜持はどこへいったのか、文化の森は育つのか。大阪の文化振興に尽されて長い山崎正和氏に、今、大阪が歩むべき道について伺いました。

ゲスト 山崎正和 (LCA大学院大学学長・中央教育審議会会長)

聞き手 堀井良殷 (大阪21世紀協会理事長)